

令和4年1月18日

保護者の皆様

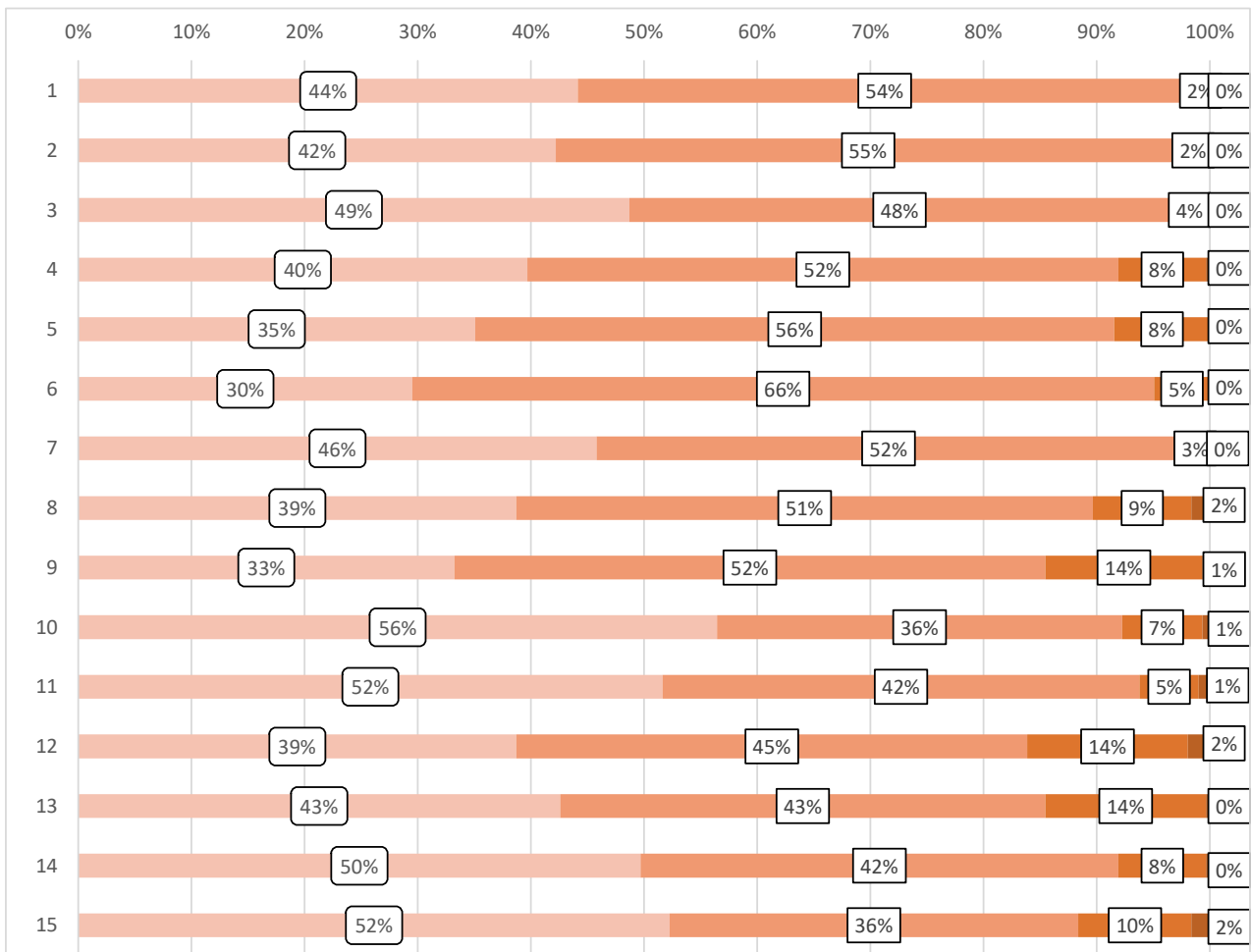
金沢市立西小学校
校長 遠水 健一

令和3年度後期 保護者アンケートの集計結果報告

厳しい寒さの続く毎日です。保護者の皆様には日頃より、本校の教育活動にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。

二学期末に実施した「保護者アンケート」の結果を報告いたします。二学期もコロナの影響による行事予定の変更がありました。保護者の皆様の来校を制限することも多く残念に思います。前期の時点で「回答しにくい」というご指摘をいただいた設問も比較のため、お聞きしています。ご協力有り難うございました。

(集計結果一回収率99% 左からA:強く思う B:やや思う C:あまり思わない D:全く思わない)



(質問項目)

- 1 学校は、学校教育目標やめざす子ども像「考える子」「学び合う子」「進んで行動する子」に向けて指導している。
- 2 学校や教室は、環境整備がなされ、学習にふさわしい環境になっている。
- 3 学校は、行事や授業など、お子さんの様子を参観する機会を工夫して設けている。
- 4 学校は、お子さんの成長や課題がよく分かるように伝えている。
- 5 学校は、困っていることを相談しやすい。
- 6 学校は、いじめ防止に努めるとともに、いじめに対していねいに対応している。
- 7 学校は、お子さんに、学習に対する基礎的な態度（聞く、話す、書く）が身につくよう指導している。
- 8 お子さんは、基礎的な学力が身についている。
- 9 お子さんは、その場に応じて進んであいさつを行っている。
- 10 お子さんは、学校での楽しかったことやほめられたことなどを家で話している。
- 11 お子さんは、楽しそうに学校へ行っている。
- 12 お子さんは、学校で学んだ「歯・口の健康づくり」の内容を、ご家庭でも実践し、進んで「歯みがき」をしている。
- 13 ご家庭では、お子さんに家庭学習の習慣（10分×学年）が身につくよう、宿題や自学をしているか確認している。
- 14 ご家庭では、お子さん基本的な生活習慣（早寝、早起き、朝ご飯）が身につくようにしている。
- 15 ご家庭では、仕上げ磨きをしたり、歯科医院を定期的に受診したりしている。

結果分析

○分析・検討の方針は次の通りです。

- A「強く思う」+B「やや思う」が80%以上の項目は、「おおむね満足」項目
A「強く思う」+B「やや思う」が80%未満の項目は、「検討・改善」項目

結果

- (1) 今回の結果では15項目中すべての項目で「おおむね満足」の結果となりました。
「おおむね満足」の割合が90%以上のものは、問1, 2, 3, 4, 6, 7, 8, 10, 11, 14でした。前期と同じ項目でした。
- (2) (1)については、全ての項目で前期と後期の「おおむね満足」の割合はほぼ同じでした。前期に比べ、A「強く思う」が5パーセント以上高くなったのは、問3, 4, 8です。
- (3) C「あまり思わない」+D「全く思わない」(マイナスの評価)の割合が前期と比較して同じ、または減ったものは、問1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 9です。
(問3, 6, 9)に対するマイナスの評価が3%減っています。
(問5)「困ったことを相談しやすい」に対するマイナスの評価は5%減っています。
- (4) 令和2年度後期アンケートで「検討・改善」項目となった以下の2点の項目については改善しています。
(問6)「学校はいじめ防止に務めるとともに、いじめに対して丁寧に対応している」
(問9)「お子さんはその場に応じて進んで挨拶をしている」
- (問6)について前期同様、子ども達の様子の見取り、実態把握として次の取り組みをしています。
*子ども達が自分の成長を自覚するきっかけとしたり、自由記述で困りごと等を書き出すことができるようにするために、毎月1回「心の日」を設定し、生活カードを使って学級や個人のふりかえりを実施
*スクールカウンセラーの先生の紹介、スクールカウンセラーによる校内巡視、授業参観
*相談ボックスにより、お子さん本人が聞いてほしい先生へつなぐ
*年1回の「いじめアンケート」の実施
- (問9)について、家庭や地域のみなさんの声かけや見守りと子ども達の取り組みで、「挨拶ができる子ども達」が増えています。継続をお願いします。
- (4) 設問に対して、「答えにくい」「判断できない」等の理由で、一部無回答があった項目もあります。回答率が98または97%の項目は、前期と同じ問3, 4, 6, 15です。

今後に向けて

令和3年度もまとめの時期となりました。新型コロナの対応は今後も継続が必要です。その中で、学習内容を保障し、体験的な活動をどう盛り込むか、子ども同士の関わりをどう設定するかについて、その時々工夫がより一層必要になります。また、保護者の方の来校の機会も、感染の状況によって制限されます。保護者や地域の皆様と学校と一緒に子ども達を育てていくために、より一層、学校の状況を理解していただけるような発信が大切だと考えています。

前期にご指摘いただいた「学校の様子がわかりにくい」「もっと様子を知りたい」ということに関して、学級・学年・学校便り、HPでのお知らせ、Google classroom を活用しての発信により、少しではありますが状況をお知らせできたようです。今後、内容や時期をさらに考えていくことが必要です。

また、「火・木校時(短縮校時一下校時刻の違い)」についてのご質問がありました。令和2年度開始すぐに臨時休業となり、準備していた学習や行事等の見直しの後、6月より学校が再開しました。令和元年度までの日課表を主に次の三点、「①不足した授業時数を回復するため」「②急な休業等による授業時数の不足で履修できない内容が出ないようにするため」「③職員の研究会等への参加の場合にできるだけ授業時数を欠かないようにするため」の理由により見直しました。特に1年生の保護者の皆様への説明が不十分であったことをお詫びします。

「学校環境の整備」について、「空調機の稼働開始」「コロナ対応費の配当、活用」「雨漏りの修繕」「運動場遊具の補修と撤去」「体育館修繕工事」「体育館電灯 LED 化」が大きな項目です。また、昨年度、整備された、「校舎外周、ピロティ外周の電灯の修理」により、学校開放時の安全や、夜間の時間帯の防犯に役立っています。ただし、「トイレの洋式化」については、毎年要望していますが予算がついていません。引き続き要望をしていきます。

「歯みがき」に関しては、コロナの状況が改善されないうちは、学校での「歯みがきタイム」は再開できませんが、年間を通して「歯と口の健康」の指導に取り組み、保護者の方の応援を得ながら継続していきたいと考えています。ご協力をお願いします。

学校が子ども達にとって安全、安心な場所となるように、皆様と連携を取り、共通理解を深めながら、家庭と学校と地域で子ども達を育てていきたいと考えています。また、学習、図書、花壇の各ボランティアの皆様、登下校の見守りをして下さる皆様には、子ども達のためにご協力いただき、有り難うございました。これからも、よろしくをお願いします。